

10年後の川根本町はどうなってほしい？

8/1

町内の若者が「川根本町の未来」について意見交換



和やかな雰囲気の中、川根茶を楽しみながら話す参加者

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、「川根本町の未来」をテーマとした町内の若者同士による意見交換会「U 35 未来創造会議」を、フォーレなかかわね茶茗館にて開催しました。

この会議は、若者の「美しい村づくり」への参画を促すことを目的に、同連合が全国の加盟地域で順次開催しており、今回は町内で農業や福祉、観光などに従事する6人が「10年後のあるべき町の姿に向けてどのような取組が必要か」を話し合いました。参加者からは「地域コミュニティへ積極的に参加していきたい」などの前向きな意見が出されました。

8/2 まちの魅力を世界へ発信！

ファン拡大を目指しYouTube(ユーチューブ)で生配信



軽快なおしゃべりで特産品を紹介



NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、加盟地域の魅力を現地からのインターネット中継で紹介する「行きつけのむらをつくろう LIVE 配信」を、千頭駅前のカフェ「Folk knot café STIR (フォークノットカフェ スター)」で開催しました。

配信では、町地域おこし協力隊員とインターネットラジオ「やんばいFM」のパーソナリティが町の特産品や普段の活動の様子などを視聴者に紹介したほか、前日に開催された「U 35 未来創造会議」の結果も報告されました。

今回の配信は、左のQRコードから視聴できます。また、「U 35 未来創造会議」の全編も近日公開予定です。

また、来年にね。ほのかな灯に思いを乗せて

8/16

久野脇区の灯籠流し。お盆の大井川をほのかに照らす



水面に灯籠を浮かべる参加者ら

久野脇スポーツ広場で、久野脇親水公園管理運営組合と久野脇区、同区生涯学習委員が共催した「お盆灯籠流し」が行われました。

広場で行われたセレモニーの後、参加者は故人へのメッセージなどを書き込んだ灯籠に明かりをともし、大井川に流しました。「また、来年ね」と住民らは、赤や黄、緑色の灯籠が水面を照らしながら流れていく様子を見守っていました。

同組合長の諸田武男さんは「たくさんの方が参加してくれてうれしい。ご先祖さまも喜んでくれると思う」と話しました。

9/5 身近なジェンダーについて考えよう！

町内中学校で男女共同参画ワークショップが開催されました



性別が持つイメージを書き出す中学生たち

第3次男女共同参画プランを策定するためのワークショップが中学生を対象に初めて開催されました。

若年期から男女共同参画に関する意識を高め、新しいプランに生徒の意見を反映させることが目的の同事業。参加した生徒らは、性別に対する無意識の思い込みや偏見について活発に意見を交換していました。

参加した生徒からは「男性だったらとか女性ならこうあるべきだという言葉を日常生活から使わないように心掛けたい」などの意見が出されました。

エコティ日記

「町の自然資源を活かした地域観光事業」に取り組んでいる(一社)エコティかわね。今月は佐々木直也さんにお話を聞きました。

「宝物がいっぱいの川根本町」を感じてもらいたい！

「カヤックガイドの養成講座に参加してみませんか？」この町に移住してきて少したった頃、エコティの事務局にお声掛けいただき「僕でお役に立てるなら」と参加したのがガイドの始まりでした。初めは思うようにカヤックを操れなかったことを記憶しています。でも、楽しかった！

それから4年。今では毎年多くのお客様に携わっています。先日ご案内した平均年齢50歳の男性4人組のお客様。皆さんカヤックは初体験。準備運動でワイワイ、ライフジャケット着用でウキウキ、カヤック乗艇でドキドキ、湖面でワクワク、上陸した沢では水に飛び込んで大はしゃぎ！とっても満足していただきました。県内にお住まいの方々が「近くにこんなスポットがあるなんて！」と感激していました。

エコティの活動には、「足元にも宝物がたくさんあるよ」というメッセージがあるように思います。そんなことを感じてもらえるガイドでありたい、と活動しています。



接岨湖の大自然を満喫中のお客様

佐々木 直也 さん (千頭東区)

- ▶ 福島県出身。
- ▶ 2017年に川根本町に移住後、飲食事業を立ち上げる。
- ▶ カヤックのガイドや、ツアー時のお弁当づくりなどでエコティの活動を支える。



(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎(58)7000 FAX (58) 7001
Eメール: ecotkawane@gmail.com